



大原中だより

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校

メールアドレス：ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ：https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

さいたま市立大原中学校

TEL 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 5 号

令和4年8月26日

実り多い2学期に ～「レジリエンス」、ポジティブに考え最後までやり抜く力～

校長 岡村 洋彦

夏休みが終わり、生徒たちの元気な声がまた学校にかえってきました。

今年の夏は、猛暑が続いたり、台風が接近したり、大雨が続いた地域があったりなど、自然の厳しさを感じる夏でした。そのような中、本日2学期がスタートでき、夏休み中の保護者の皆様、地域の皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。

生徒たちは、長い休みの間に学校では得ることのできない貴重な体験をして、ひとまわり大きく、たくましく成長したように見えます。家庭で過ごす時間が増え、家族の一員としての役割を果たし、学力、体力に生活力を合わせた「人間力」を磨くことができたことでしょう。今学期も子どもたちのよりよい成長のため教職員一同取り組んで参ります。

いよいよ今日から授業が始まります。学校生活で多くの時間を過ごす教室は、整理整頓され、きれいに清掃されているだけでなく、雰囲気も大切です。

知る人ぞ知る「教室はまちがうところだ」（蒔田晋治 作）という詩に次の一節があります。

「… まちがうことを おそれちゃいけない まちがったものを わらっちゃいけない
まちがえた意見を まちがった答えを ああじゃないか こうじゃあないかと みんなで出し合い
言い合うなかで ほんとのものを 見つけていくのだ そうしてみんなで 伸びていくのだ …」

このように、お互いを認め合い、助け合い、高め合う雰囲気を大切にしたい教室で、チャレンジする気持ちをもって2学期をスタートしてほしいと思います。

さて、近年「レジリエンス」という言葉をよく目にします。英語で「弾力」、「復元力」、「回復力」などを意味する言葉です。「諦めない心」、「逆境に負けず前向きに人生を切り拓いていく力」ということもできるでしょう。コロナ禍による社会の変化をはじめ様々なストレスの中で、ネガティブな感情を抱きながらも粘り強くがんばって切り抜ける力、すぐによい結果が出せなくてもポジティブに考え最後までやり抜く力、このような「レジリエンス」こそ、中学校時代に培うべき力だと感じています。

2学期は、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋など〇〇の秋といったこの季節ならではの言葉がたくさんあります。学校行事の多い2学期、いろいろなことに自分から挑戦し、集団の中で自分の活躍できる場を見つけ、友だちと協力しながらやり遂げられるようがんばってほしいと思います。そういう経験の中で、「レジリエンス」を身につけていってほしいと思います。「できた」「やった」「がんばった」という喜びを一つでも多く味わえるよう一人ひとりに支援して参りたいと考えております。そして大原中学校の生徒一人ひとりが輝き、認められ、互いに思いやりをもち、自分のよさを自分自身で感じられる、そんな実りある2学期になることを期待しています。

